

あきる野市増戸地区自治会長会

## 小中学校と地域が連携した防災マップ作り

7月下旬～8月下旬にかけて、自治会毎に小中学生と地域の人たちが一緒になって、自分の住む地域マップを作成した。

防災の基本は“自分の地域を知る”事であり、作成活動を通じて子供から大人までが一緒に行動することに意義があると共に地域の特徴が共有できた。

8月末現在で10自治会で実施し、小中学生98名、保護者/役員89名の合計184名が参加した。

作成した防災マップは、小中学校の授業で見直し書き込み等の二次作業を行い、防災の教材としても活用される。

♪ 8月末現在、10自治会がマップ作りを実施ですが、今回はその一部の地域を掲載いたしました ♪

- ◆ 子供と自治会役員等、大勢が参加。マップの作り方は、机上で記憶を頼りに“消火栓や貯水所、危険箇所”等をマップ上に記入する。そして、みんなで現地に出向き、モレや誤記入を修正し会館に戻って“防災マップ”を仕上げます。こうして、大人も子ども達も共有した情報で防災意識の高揚をはかります。

## 新宿



記憶を頼りに…記号を記入



これは井戸の確認?



マップ上で消火栓の確認

## 中平

- ◆ 暑い、あつ〜い! 日曜日の午後、上村会館の会議室で行われた。遠藤校長もカメラ片手に参戦です。



記憶を頼りに…あれこれ





**大上**

◆自治会防災の役員と子ども会そして中学生2名も参加。机上の作業は、エアコンで快適だったが外での現地確認作業はカンカン照りでまいった。でも、子ども達は元気だ！ たのしい！



自治会長がマップの作り方を説明



井戸はどこ



現地から戻りマップの仕上げ



この塀は鉄筋で補強・・・

**横沢**

◆子ども達も大人も大勢が参画！ 横沢は“坂道と山あい”の多い土地柄です。自治会長が現地でマップを使って危険箇所を子ども達に教え、防災意識を高めていた。



♪ええ～！この辺は大雨になると・・・水がしみこんで・・・♪  
大人も子ども達も真剣に聞き入っていた



これは現役のガッチャンポン？



本事業は「平成24年度 東京都地域の底力再生事業助成」対象事業